



# DATA TRENDS 2025

## 官公庁・公的機関

行政および教育業界のリーダーたちは、  
ミッション達成のためにデータモダナイゼーション、  
コラボレーション、AIをどのように活用しているか





# 目次

<b>官公庁・公的機関のモダナイゼーションと効率化の年</b> .....	<b>3</b>
<b>行政および教育業界における重要なトレンド</b> .....	<b>4</b>
第1のトレンド：効率化のためのデータモダナイゼーションが始まっている .....	5
第2のトレンド：データコラボレーションの重要性が高まっている .....	6
第3のトレンド：リーダーはAIに対して懸念を持ちつつも期待を寄せている .....	7
<b>行政および教育業界向けAIデータクラウド</b> .....	<b>9</b>



# 官公庁・公的機関の モダナイゼーションと効率化の年

官公庁・公的機関にとって、2025年は前例のない歴史的な変革の年となることが示唆されています。国や地方の行政機関、高等教育機関は、リーダーシップ、運営方法、規制環境の急速な変化への対応を進めています。そして、効率やアカウントビリティに関する新たな義務付けによって、従来の構造やプロセスの見直しを迫られています。

データとAIは、この新たな時代のニーズに応える手助けとなります。しかし、官公庁・公的機関はデジタルイノベーションにおいて常に後れを取っており、リソースを大量に消費するレガシーシステム、サイロ化したデータやインサイト、進まない部門間のコラボレーション、効果のない遅延した意思決定といった、連鎖する課題に悩んできました。

これまでのやり方はもはや通用しません。モダナイゼーションに着手しない限り、行政機関や教育機関はさらに時代に取り残されることとなります。イノベーションを受け入れ、業務プロセスやサービス提供におけるリソースやコストの非効率を見直すときが来ています。

今こそ、戦略的な変化を起こす必要があります。すでにモダンデータファウンデーションを活用している官公庁・公的機関のリーダーたちは、業務の効率化だけでなく、不正の検知と防止、公共交通と公共の安全、サイバーセキュリティ、教育体験の向上といった重要な課題にもデータとAIの力を活用しています。たとえば、市民の質問に即応できる、AIチャットボットを自在に活用した回答の提供や、学生向けのパーソナライズされた教育プラットフォームのローンチなど、数多くの例があります。

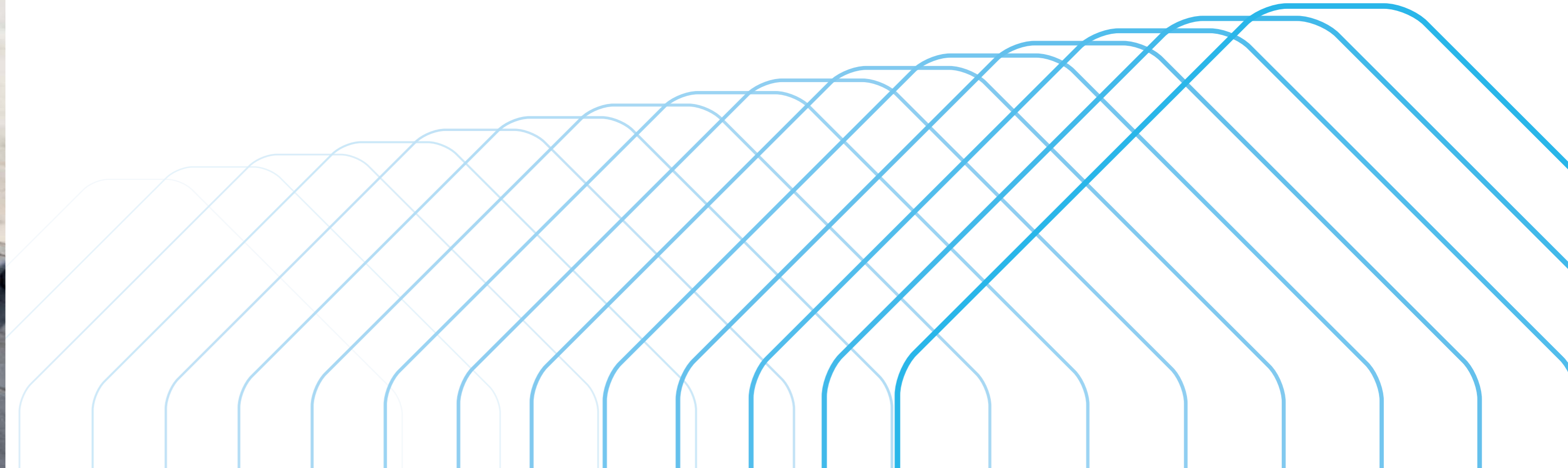
SnowflakeのグローバルインダストリープリンシパルであるMatthew Roseは、「エンジニアリング、ワークフロー最適化、ドキュメント処理などの特定の分野に対してエンタープライズAIを戦略的に適用することで、官公庁・公的機関のミッションは大きく進展します。そして、職員の生産性や業務効率、プログラムの効果が大幅に向上し、最終的には経済や雇用の成長がもたらされます。これこそが、行政にとってのAIの真の変革的な可能性です」と話しています。

本書では、官公庁・公的機関に影響を与える重要なデータトレンドを詳しく調査し、リーダーたちがどのようにデータドリブンな戦略や新たなテクノロジーを活用して成果の改善とミッションの達成を実現しているかを探ります。



# 行政および 教育業界における 重要なトレンド

行政および教育業界のリーダーは、官公庁・公的機関における効率性と生産性の向上を目指す新たな取り組みのなかで、情報に基づいた意思決定を実現する手段としてデータに目を向けるようになってきました。この章では、データモダナイゼーション、データコラボレーション、AIという、3つの主要なトレンドについて詳しく見ていきます。いずれも、市民サービスの改善とミッションの達成を目指すリーダーにとって非常に有用なものです。





## 第1のトレンド： 効率化のためのデータ モダナイゼーションが始まっている

官公庁・公的機関に対する業務の合理化、効率向上、コスト削減の義務付けにより、モダンデータインフラストラクチャへの移行は避けられないものとなっています。時代遅れの断片化されたデータシステムは、メンテナンスコストに多くのリソースを必要とするだけでなく、統合やデータ共有の困難さによって業務効率の大幅な低下も招きます。さらに、レガシーのライセンスモデルやクラウドベンダーロックインは、柔軟性の著しい制限とコストの増大につながります。クラウドベースのテクノロジー、データガバナンス、高度なアナリティクスを活用する、セキュアでスケーラブルかつ相互運用可能なエコシステムがあれば、行政機関はデータドリブンな意思決定とより良い市民サービスを実現できます。

モダンなクラウドベースのプラットフォームへのアップグレードは、効率の向上をもたらします。こうしたプラットフォームではデータの入力や処理などの反復的なタスクを自動化できるため、人的エラーの最小化とサービス提供までの時間の短縮が実現します。さらに、データの可視化と共有の機能も強化されます。これは、業績管理な

どの業務にとって非常に重要です。たとえば、モダナイゼーションによって行政機関の財務計画と分析 (FP&A)、予算編成、リソースデータを統合することで、投資意思決定の改善、リソースプランニングの最適化によるプロジェクトスケジュールの改善、リスク分析の強化、将来予算の予測精度の向上が実現します。

加えて、モダンプラットフォームはマルチクラウド機能を通じて、レジリエンスの向上、競合力のある価格設定によるコストの最適化、さまざまなプロバイダーのベストオブブリードのサービスの利用を可能にして組織を強化します。また、こうしたプラットフォームの従量課金モデルでは、リソースの動的なスケーリングが可能になるため、不必要な支出を排除してコストを実際の需要に沿ったものにできます。

## 行政における 不正、浪費、 濫用の対策

古いシステムの使用は、米国連邦政府およびその他の官公庁・公的機関における不正、浪費、濫用 (FWA) を助長するおそれがあります。こうしたレガシーシステムは、数十年前の検知ツールから人的なバイアスやミスにつながる非効率な手作業に至るまで、不正行為者に悪用される可能性のある脆弱性や非効率を生み出します。また、データ分析能力が制限されている、複雑な手口の検知と防止が困難である、リアルタイムのモニタリング機能が欠如しているといった他の課題も、モダナイゼーションの必要性を後押ししています。

先進的な行政機関は、FWAの検知と防止を強化し、最終的には公的資金を保護して制度への信頼を維持するために、インフラストラクチャのモダナイゼーションを進めています。モダンシステムでは、チームは自動化されたアナリティクスを実行してデータのリスクやエラーを迅速に特定し、同じ行政機関内や他の行政機関のステークホルダーとほぼリアルタイムで共有できます。また、AIや機械学習モデルを活用して人間の専門知識を拡張することで、異常の予測と検知を強化して、不正請求を容易に特定できるようになります。



## 第2のトレンド： データコラボレーションの 重要性が高まっている

官公庁・公的機関におけるデジタルトランスフォーメーションの重要な要素として、データコラボレーションに対する注目が高まっています。従来のデータサイロを解消して、他の部門や機関、さらには外部パートナーとのセキュアなデータ共有を培うことにより、行政機関や教育機関が得られるインサイトと効率性は大幅に改善します。このコラボレーティブなアプローチは、課題の包括的な把握を可能にして、より情報に基づいた意思決定と、市民や学生に役立つ成果の提供をもたらします。

たとえば、児童のウェルビーイングに関するデータが、保健局、社会福祉サービス、教育システムによってセキュアに共有されている都市を考えます。この都市では、コラボレーションを通じて特定の環境要因と小児喘息の発症率との相関関係など、これまで隠されていたパターンを明らかにできます。そして、こうして得た知識をもとに公衆衛生を改善するためのターゲットを絞った措置を講じられるため、ヘルスケアリソースの負担が軽減します。

データコラボレーションは、官公庁・公的機関と民間企業の間での革新的なパートナーシップも促進します。行政機関は、テクノロジープロバイダーや研究機関とデータを共有し、高度なアナリティクス機能や専門知識を利用することで、複雑な課題の解決までの時間を短縮できます。このコラボレーティブなエコシステムによってデータドリブンな意思決定の文化が醸成され、最終的に即応的で高い効果をもたらす官公庁・公的機関が実現します。

データコラボレーションの可能性を最大限に引き出すためには、データのセキュリティ、プライバシー、ガバナンスに関する重要な懸念への対処が必須となります。官公庁・公的機関の組織は、データの移動やコピーなしにセキュアなデータ交換とコラボレーションを可能にするソリューションを優先する必要があります。この要件は、市民の信頼の維持、機密情報の保護、データ利用における透明性の向上の達成に不可欠です。強固なデータガバナンスのフレームワークを実装し、セキュアなデータ共有を重視するテクノロジーを活用することで、官公庁・公的機関は、データコラボレーションをプラスの変化をもたらす強力な手段として自信を持って受け入れられるようになります。

## お客様の成功事例： 市民のニーズを先取りする データ戦略の実現

米国最大の町、アリゾナ州ギルバート町は、変化を予測して革新的な解決策を生み出し、住民向けサービスを向上させたいと考えていました。その方法の一つが、膨大な量のデータリソースを最大限活用することでした。しかし、部門間のコラボレーションはデータサイロによって妨げられており、業務報告書の準備も、複数のソースからデータを取得しなくてはならないために数か月かかっていました。ギルバート町では個人を特定できる情報 (PII) を大量に保有していましたが、その管理は困難で、メディアや住民からのデータ要求への応答にも時間を要していました。

そこでギルバート町は、各部門のデータを一元化してデータガバナンス戦略を強化し、コミュニティ全体へのサービス提供を改善する住民向けダッシュボードを実現するための手段として、Snowflakeに目を向けました。そしてSnowflakeを導入した結果、町全体にわたる効果的なデータガバナンス戦略の実装を実現し、セルフサービスのパフォーマンスダッシュボードを通じて住民に最新情報を提供できるようになりました。また、内部レポートと分析の合理化も達成しました。さらに、データとAIをより有効に活用できるようになったことによって複雑さの軽減と透明性の向上がもたらされ、サービス提供が改善しました。

[ストーリー全文を読む](#)



### 第3のトレンド :

## リーダーはAIに対して懸念を持ちつつも期待を寄せている

官公庁・公的機関のリーダーは、AIの導入において特有の課題に直面しています。具体的には、予算の制約、プライバシーとセキュリティ、倫理的考慮事項といった課題が存在します。しかし同時に、行政および教育業界の多くのリーダーが、AIは市民サービスを変革し、ミッションを達成に導く力を秘めていると認識しています。経済協力開発機構 (OECD) が発表した[最近のレポート](#)では、調査対象の31か国のうち、約70%が内部業務の強化のためにAIを活用していることが明らかになりました。

AIは、すでにサービス提供の改善に活用されています。会話型AIチャットボットやバーチャルアシスタントは、迅速な応答とパーソナライズされたやり取りを通じて、市民に満足度と利便性の向上を提供しています。公衆衛生の領域では、AIによって、不正検知の取り組みの強化、リソースの保護、要支援者への確実な援助が実現しています。また交通と都市計画についても、AIを活用した交通管理システムやスマートインフラストラクチャのイニシアチブを通じて最適化が進んでいます。国家防衛においては、ドキュメントの処理、ワークフローの自動化、サイバーセキュリティの強化にAIが活用されています。

AIは業務の改善のほかにも、非常に広範に影響を与えています。高等教育では、AIはデータ分析、自然言語処理、画像認識などを通じて、さまざまな専門分野の研究を加速させ、新たな発見や進展をもたらしています。また緊急対応機関においても、早期警戒システムやリソース割り当てにAIを活用しており、最終的に人命救助と被害の最小化につながっています。このAIの広範な導入状況は、その汎用性の高さと、官公庁・公的機関のさまざまな課題への優れた対応能力を裏付けるものです。

官公庁・公的機関においてAIの可能性を最大限に引き出すためには、堅牢なモダンデータファウンデーションが何よりも重要です。データインフラストラクチャをモダナイズすることにより、AIと機械学習の能力を引き出すために欠かせない、データサイロの解消、データ品質の確保、セキュアかつスケーラブルなファウンデーションの確立が実現します。これにより、官公庁・公的機関は現在のAIの能力の効果を最大化できるだけでなく、生成AIや大規模言語モデルの将来の進展にも備えられるようになります。強力なデータファウンデーションに対する投資は、技術的な面で不可避というだけでなく、AIの変革的な力を活用しようとするすべての行政機関や教育機関にとって戦略的に不可欠なものです。

# 70%

## 調査対象国のうち、AIを活用して内部業務を改善していると回答した国の割合

— 経済協力開発機構 (OECD)



## 官公庁・公的機関におけるAI導入の正当性を示す

官公庁・公的機関におけるデータとAIのイニシアチブのROIについては、単なる金銭的な利益ではなく、効率性、サービス提供、市民や学生のウェルビーイングの向上を測定する必要があることから、独自の課題が存在します。しかし、構造化されたアプローチによって、データとAIへの投資の価値を効果的に示すことが可能になります。このアプローチには、効率性の向上、市民や学生へのサービスの強化、意思決定の改善、透明性の向上といった成果に焦点を当てた、具体的かつ測定可能な目標の設定が含まれます。

新たなテクノロジーを実装する際には、先にベースラインのメトリクスを設定し、その目標値に沿ったKPIを継続的に追跡する必要があります。KPIとしては、コスト削減、時間短縮、市民や学生の満足度、プログラムの成果などが考えられます。定量的なデータは重要ですが、職員の士気向上やコラボレーションの強化といった定性的なメリットについても考慮する必要があります。

最後に、データとAIのイニシアチブのROIを、明確かつ簡潔にステークホルダーに伝えることが重要です。具体的には、視覚化や実世界における例を使用してプラスのインパクトを明示し、将来のイノベーションに対するサポートを構築する必要があります。

## 生成AIによる行政の再構築

生成AIは、行政や教育機関のサービス提供の最適化、業務の合理化、意思決定能力の強化を通じて、官公庁・公的機関に変革をもたらします。

- **プログラムとサービス提供の改善**：行政や教育機関は、予算の制約のもとで業務を遂行しながらサービスを改善できるよう努めています。生成AIを活用したチャットボットは、オンラインフォーム、データベース、履歴記録などのソースから取得したデータを処理し、クエリに対して迅速かつ正確な応答を提供できるため、時間とコストを削減します。また、生成AIを使用すれば、サービスを個々のニーズに合わせてカスタマイズすることも可能になり、市民や学生に対するパーソナライズされたサポートや支援の提供などが実現します。
- **業務の効率化**：生成AIの自動化機能は、官公庁・公的機関の職員の時間のかかる手作業の多くを置き換え、効率性と生産性を改善します。生成AIモデルはリーダーのために、複雑なデータを分析してプログラムの提供に必要なリソース割り当ての推奨事項を提示できます。教育機関は学生の成果向上と管理業務プロセスの合理化を目的として、AIドリブンのパーソナライズされた学習プラットフォームを導入しています。
- **即応性の高い行政を実現する予測分析**：生成AIを活用した予測分析は、新たな課題への予防的措置を可能にすることで組織の目標達成を支援します。たとえば、生成AIを使用して病気の流行や災害の影響を予測できれば、緊急サービスの最適な配置が可能になります。教育分野においては、生成AIは入学者数の傾向を予測し、学校のインフラ投資の推奨事項を提示できます。また、将来的な予算ニーズを予測してリソース割り当てを支援することも可能です。



# 行政および 教育業界向け AIデータクラウド

Snowflakeの行政および教育業界向けAIデータクラウドは、データのモダナイゼーション、コラボレーション、AI導入のための強力なプラットフォームを提供します。このマルチクラウドのソリューションは、官公庁・公的機関の組織におけるデータサイロの解消、情報のセキュアな共有、データの最大活用を可能にして、ミッションの達成をもたらします。

- **データ共有とコラボレーション:** コラボレーションとデータドリブンの意思決定は、行政および教育業界向けAIデータクラウドの中核です。このプラットフォームは、他の機関、部門、外部パートナーとのシームレスなデータ共有を可能にすることで、市民や学生などの重要なステークホルダーの包括的なビューを醸成します。この包括的な理解を得ることで、より多くの情報に基づいた政策意思決定、サービス提供の改善、効果的なリソース割り当てが実現します。
- **不正、浪費、濫用の対策ツール:** Snowflakeのプラットフォームは、組織の業務効率を改善して不正、浪費、濫用を抑止するためのツールも備えています。AIを活用した不正検知と高度なアナリティクス機能を組み合わせることにより、不審な活動のリアルタイムでの特定、公的リソースの保護、要支援者への確実な支援が可能になります。

## お客様の成功事例： AIとセルフサービス アナリティクスによる 未来に備えた基盤の構築

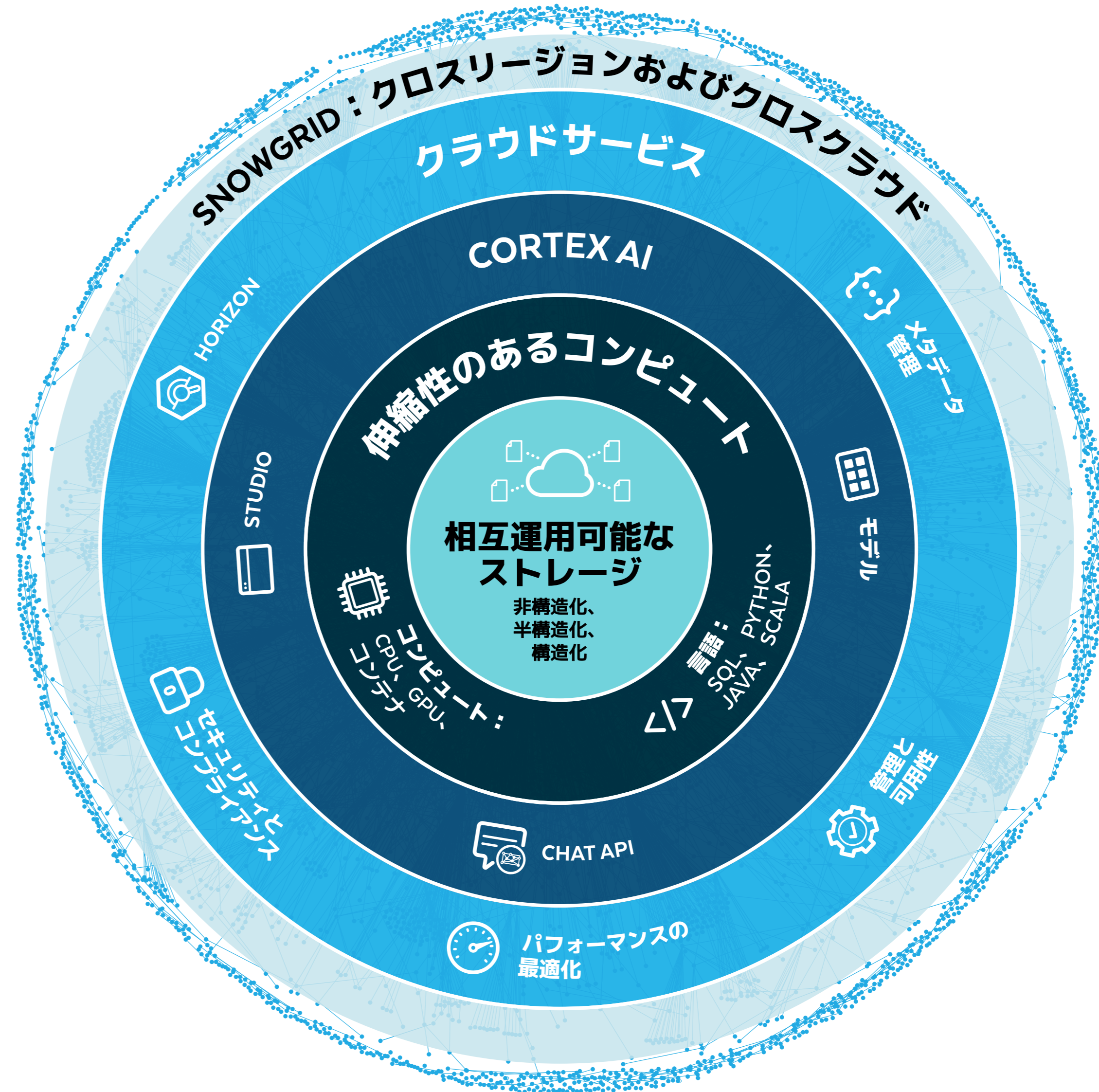
フロリダ州立大学 (FSU) は、米国の公立大学ランキングで上位の座を維持しており、毎年何千人もの新生が入学しています。FSUの戦略目標であるオペレーショナルエクセレンスにおいて、データは不可欠です。FSUはSnowflakeを使用して強固なデータファウンデーションを構築し、ミッションの推進を支援するアナリティクスとAIユースケースの強化を実現しました。FSUでは、さまざまなチームが20年以上にわたりデータとアナリティクスを活用していますが、従来のデータアーキテクチャはスケーリングとメンテナンスが困難でした。そのため、大学のデータとアナリティクス担当チームは、データインフラストラクチャのモダナイゼーションを図るためにSnowflakeに移行しました。FSUは現在、データに迅速にアクセスできるようになり、研究や意思決定が改善しました。また、Document AIを活用して、非構造化データの価値を最大活用しています。学生の体験向上につながるキャンパスのインサイトも得られるようになりました。

[ストーリー全文を読む](#)



- **堅牢なセキュリティとコンプライアンス:** Snowflakeは、強力なセキュリティ機能スイートを提供し、コンプライアンスとセキュリティのレポートについて確固たる成果を示しています。組み込みのセキュリティ制御と継続的なリスクモニタリング、そして米国国防総省の影響レベル5 (IL5)、StateRAMP、FedRAMP Highなどのコンプライアンス認証により、各機関は機密データを保護してコンプライアンス要件に対応するためのカスタマイズ可能なセキュリティ制御を得られます。
- **ネイティブのAI機能:** AIデータクラウドは、単なるデータ管理を超えて、AIの開発と展開のためのファウンデーションを提供します。ネイティブのAI機能により、プラットフォーム内で直接、機械学習モデルの構築と展開が可能になるため、AI開発プロセスが合理化され、誰もがAIを利用できるようになります。
- **重要ユースケースのサポート:** Snowflakeの行政および教育業界向けAIデータクラウドは、中核機能に加えて、業務効率の改善、市民エンゲージメントの向上、研究とイノベーションの促進、災害対応支援、サイバーセキュリティの取り組みの強化など、さまざまな重要ユースケースをサポートしています。SnowflakeはデータとAIの統合を通じて、官公庁・公的機関における効率化とイノベーションを促進しています。

Snowflakeの行政および教育業界向けAIデータクラウドは、データに基づいた行政とミッション成果の向上を実現します。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。





SnowflakeはAI時代のプラットフォームです。企業のイノベーションを加速し、データからより多くの価値を引き出せるよう支援します。世界最大規模の数百の企業を含めた11,000を超える世界中のお客様が、SnowflakeのAIデータクラウドを利用して、データ、アプリケーション、AIの構築、活用、共有を実現しています。Snowflakeは、すべての人にデータとAIによる変革をもたらします。

詳しくは、[snowflake.com/ja](https://snowflake.com/ja)（ニューヨーク証券取引所：SNOW）をご覧ください。



© 2025 Snowflake Inc. All rights reserved. Snowflake、Snowflakeのロゴ、および本書に記載されているその他すべてのSnowflakeの製品、機能、サービス名は、米国およびその他の国におけるSnowflake Inc.の登録商標または商標です。本書で言及または使用されているその他すべてのブランド名またはロゴは、識別目的でのみ使用されており、各所有者の商標である可能性があります。